

- 道徳の年間指導計画
- 道徳の指導方法
（「道徳の指導資料」の活用など）

(5) 道徳教育福島県講習会の開催

① 趣旨

小学校および中学校における道徳教育の充実徹底を期するため、道徳教育における基本問題および指導上の諸問題を解明し、教職員の資質の向上をはかることを目的とする。

② 主催

文部省、福島県教育委員会

③ 主題

- 道徳教育の全体計画、他領域との関係
- 道徳の年間指導計画
- 道徳の指導方法（「道徳の指導資料」の活用など）
- その他、授業の研究など

④ 出張所、会場、期日

信夫出張所	三河台小 岳陽中	10月5日～7日
伊達	保原小 保原公民館	10月8日～10日
安達	二本松北小 二本松中	10月7日～9日
安積	芳山小 郡山二中	9月16日～18日
岩瀬	鏡石一小 鏡石中	9月15日～17日
田村	三春中	9月14日～16日
西白河	白河一小 白河中央中	9月7日～9日
東白川	棚倉小 棚倉中	9月8日～10日
石川	石川小・中	9月9日～10日
南会津	田島小・中 大宮小・中	10月28日～30日 10月29日～31日
北会津	城北小 若松一中	10月26日～28日
耶麻	喜多方二小 喜多方一中	9月28日～30日
両沼	坂下小 坂下二中	10月27日～29日
石城	平一小 平一中	9月14日～16日
双葉	富岡二小 富岡二中	9月17日～19日
相馬	鹿島小 鹿島中	9月16日～18日

⑤ 反省

- 会期、参加者の決定については検討の余地がある。
- 授業研究をおりこんだ計画は効果的であった。

(6) 文部省道徳教育研究学校研究発表会の開催

昭和38年度以来継続して下記学校が指定をうけていたが、本年は、最終年度にあたり、それぞれ研究発表会を開催し、各地区の小・中学校の道徳教育に大きな貢献をした。

① 白河市立五箇小学校（校長名 吉田三郎）

- 研究主題 「道徳の時間」において資料、特に視聴覚教具教材などのように整備し活用したらよいか。
- 期日 昭和39年10月8日（土）
- 講師 文部省調査官 青木孝頼
- 分科会

- ・ 低学年——低学年の指導において、視聴覚教具教材特にスライド、紙芝居、絵ものがたり等をどのように利用したらよいか。
- ・ 中学年——中学年の指導において、視聴覚教具教材特にスライド、ラジオ、録音等をどのように利用したらよいか。
- ・ 高学年——高学年の指導において、視聴覚教具教材特にスライド、テレビ、統計図表等をどのように利用したらよいか。
- ・ 中学校——資料をどのように活用して授業をすすめたらよいか。

② 平市立平第一小学校

- 研究主題 道徳の時間の指導法
——視聴覚教具教材の活用と整備——

- 期日 昭和39年10月27日
- 講師 東京大学助教授 佐藤俊夫
- 分科会および全体会

各学年ごとに分科会をもち、研究を深めた。全体会においては、○道徳の時間の指導計画立案について、○道徳の時間の指導法の問題点について、○道徳の時間の効果をあげるための基礎研究等について、研究発表があり、それぞれ内容が充実していた。

③ 河沼郡湯川村立湯川中学校

- 研究主題 道徳の時間における指導過程と資料の効果的な使い方はどのようにしたらよいか。

- 期日 昭和39年11月4日
- 講師 お茶の水女子大学教授 宮田丈夫
- 分科会および全体会

小学校は「内面化をはかるための資料をどのように活用したらよいか」、中学校は「内面化をはかるための指導過程と資料の効果的な使い方はどうしたらよいか」について研究し、全体会においては、湯川中の実践に裏づけられた深い研究の発表があった。

④ 二本松市立二本松中学校

- 研究主題 全体計画の検討と改善について
- 期日 昭和39年11月12日、13日
- 講師 文部省初等中等教育局視学官 大内進
東京教育大学教授 唐沢富太郎

- 分科会および全体会
分科会においては指導法を中心に、全体会では、全体計画の検討と改善、指導法の充実について、研究が深められた。

(7) 道徳教育研究学校研究発表大会の参加

- ① 趣旨 道徳教育研究学校における2年間の研究成果を公開発表し、道徳教育の充実改善に資する。